

# つなごて 2011 春号



2011年6月10日発行  
 発行：NPO法人 魚沼交流ネットワーク(UNW)  
 総務部・事務局  
 住所：〒946-0041 新潟県魚沼市本町1-2  
 電話：025-792-1336(FAX 共通)  
 Mail：npo@mail.uonuma.ne.jp  
 URL：http://www.02579.jp/npo-uonuma/

## 特集

### 魚沼市まちづくり委員会・UNW合同ゴミ拾い 交流事業部主催 春の親睦会

#### 「ゴミ拾いをして」

六沢 雅世

今回はエコ活動として、魚沼市まちづくり委員会と合同でゴミ拾いを行いました。  
 車で走っていると雪がとけて、中から色々なゴミが出てきているのが気になっていました。でも、一人で行動を起せないので私の弱いところです。ここに事務局から話があり、まちづくり委員会の環境部会に声をかけて、合同という形で実現できました。うれしかったです。エコ容器の分別に協力してもらっている会員以外の方も参加してもらい二十名以上で、小出インター周辺と青島 浦佐を結ぶ山際の道のゴミを拾いました。しかし、数日後には福島橋付近には新しいゴミが落ちていて残念でした。  
 ゴミを道端に捨てて良いと思う人が減少していったらいいなと思います。(内心は、捨てるなポケッ!とつつこんでます)先日買物をしていて時、高校生の男子が落ちていた小さなゴミを拾って自分のポケットに入れていました。私も気付いていたのに拾いませんでした。(お店の人が掃除するでしょ。)と思ってたから自分には出来ないことを軽々する人を尊敬します。  
 話がとんでしまいましたが、ゴミ拾いをする景色は美しくなるし、よい運動になるし、皆喜ぶし、自己満足できるし、その日のビールはおいしいし、一石五鳥ぐらいいになります。次回は是非参加してませんか。七月には六十里越雪わり街道クリーン作戦もあります。お祭りにはゴミ分別活動を行います。これからも積極的に参加していきたいと思えます。



4月29日参加者のみなさん

#### 一歩。そして一歩。

高野 俊治

昔、と言っても、そんな昔でなく、四十数年前の高度経済成長時代頃までは、里や山のいるいなものを生活に利用して来た。ポイを始めとして、炭は燃料とし、季節の山菜やキノコ、木の実等は食料となった。草を刈って、落ち葉を集めて堆肥を作った。生活の為に木を伐り、草を刈る事で里や山が管理されて来た。近年、森林の二酸化炭素吸収の働きが地球温暖化防止になると注目される。  
 そして今、循環型社会をめざす中、昔の森林のしくみが注目されている。市は合併五周年を記念して「自然環境都市」を宣言した。今年には「国際森林年」。数年前から「登山ブーム」と言われ、熟年の方々が多勢山に登っている。「山菜ブーム」と言われた時もあった。森林浴と称して林の中を歩く。  
 自然に関心を持つ事は喜ばしい事である。しかし、山の保全、森や林や里山等の管理、整備という視点からみるとどうであろうか。  
 「全くない」と担当者として指摘をせざるを得ない。残念です。  
 水が欲しければ、栓をひねると水。火が欲しければ、スイッチオンで火。すぐに応えてくれる現在の生活様式である。これまでの年月の間、里や山に無関心といわれる状態で生活して来た多くの人は急に山や里の活用をいわれても技術的な事も含めて皆無状態であれば何も出来ない。先祖が植えた杉の手入れをしたくとも山の場所が判らない。境界線が判らない。山の木々をどのように活用すればよいか判らない。「伝承」と言われている事が今、途絶えようとしている。

地球温暖化という地球規模の問題や、翻って足元の山林の荒れ方を真剣に考えると、「うおぬま森の学校」の存在の意義と必要性を強く感じる。  
 三年目となる「キノコの菌打ち」の参加者が多いのが唯一救いの事業である。やっぱり「食べる」事に直結しているものは強い。私達の歩みはのろいが歩みを止める訳には行かない。



子供達も真剣に作業していました。



5/15 沢山の方が参加して下さいました。

#### うおぬま森の学校 年間スケジュール

日程	内容	会場
七月三日	森林整備折立地区	
八月六日	木工教室(自由空間)	つなごて
八月十二日	木工教室(自由空間)	つなごて
八月二十日	木工教室(自由空間)	つなごて
八月二十六日	木工教室(自由空間)	つなごて
九月十七日	里山整備(向山公園)	つなごて
九月二十五日	木工教室(自由空間)	つなごて
十月十日	木工教室(里山まつり響きの森公園)	
十月十六日	杉林探検(場所未定)	
十一月三日	山の幸の採集ハイキング(福山・銀山)	
十一月二十七日	チエーンソー等の整備(折立)	
十二月十日	講演会(守門)	
一月二十一日	木工教室(自由空間)	つなごて
二月十二日	木工教室(自由空間)	つなごて
三月十七日	キノコのホダ木切り(千溝地区)	

\* 場合によって、日程や内容を変更する場合があります。ご了承下さい。詳しくは、チラシやメール等でお知らせ致します。

#### 結 八万八千雪灯り

プロジェクト結実行委員会事務局

今年も二月三日新月の夜、スタートイベント「点灯式・ひなたコンサート」から結 八万八千の雪灯りが始まりました。前から行われているイベントや地域で灯りを灯すことを目的に始まったイベントなど市内各地域へ灯りがリレーされて行きました。コミュニティ協議会など地域で盛り上げてくれるところが増えています。アートコンテストへの出品作品も地域総出の大作や個人が作ったかわいらしい作品など個性的なものが増えました。連絡を取り合いそれぞれに交流している地域も増えていきます。小出小学校のグラウンドに広がった七百個の雪像の灯りは素晴らしいものでしたし、小平尾の子供たちが作った天神様の灯りの参道も良かったですね。ネットワークの事務局も小出橋のたもとにウサギを、河原に盛った雪山に結文字を作ったんですけど皆さん見てもうらやましいか? 残念ながら東日本大震災の影響で入浜瀬地区の雪中行群は中止になりましたが、多くの地区にて灯りで盛り上げていただきました。大変ありがとうございました。  
 今年は何ヶ所見に行っただろう。どの地域に何つても歓迎してくれて、大変ごちそうになりました。皆さん、雪国の冬の夜、来年はいろんな地域へ出かけてみてください。きっとお腹も心も新しい感動に包まれると思います。

#### 事業報告

- 三月二十八日 『だんだんども』只見線沿線元氣交流事業部主催 会議設立総会
- 三月二十七日 森の学校(千溝)の杉林の手入れ
- 四月八日 ボーリング大会&焼肉大会
- 四月二十五日 森の学校(著)づくり研修会
- 四月二十七日 プロジェクト結実行委員会&結の灯りアートコンテスト表彰式
- 四月二十九日 ゴミ拾い活動
- 五月十日 結の灯りアートコンテスト作品展示(自由空間つなごてにて 継続中)
- 五月十五日 森の学校(キノコの菌打ち)
- 五月二十一日 二千十一春の宵ファッションの夕べ 魚沼こども元氣フェスティバル
- 五月二十九日 森の学校(小出IC付近の里山整備) (協賛事業)

#### 事業予定

- 六月十一日 まちづくり委員会全体会
- 七月六日 六十里越雪わり街道クリーン作戦
- 七月三十日 夏の雪まつりにてゴミ分別作業(二日間実施)
- 八月三十一日 通常総会開催
- 八月二十日 踊ろつ会 小出祭民謡流し参加
- 八月二十七日 踊ろつ会 堀之内十五夜祭り参加
- 九月十五日 踊ろつ会 スケジュールは下記に記載してあります。

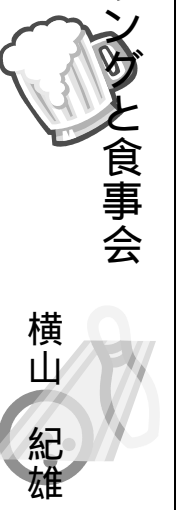
#### 地域SNS「魚沼市発」の

#### 求む!! 会員!!

誕生して三歳になりました。なかなか会員が増えないのが頭痛の種!今年度はきちんと目標数をきめました。年度末までに三百名増 会員総数一千名。ネズミ算的に増えないと達成が困難!携帯からも加入出来ます。是非ご加入ください。会員の皆さんはさらに友人、知人等に加お声掛けをお願いします。

事務局

# ボウリングと食事会



横山 紀雄

名ばかり会員が、出されたエサに釣られて飛びついた。シメシメ。戦中戦後の欠乏トラウマだろう。楽しいこと、美味しいことにずっと飢えて来たように思う。幼少の頃は、何でも口に入れれば、腹が満たされれば、それでよかった。選択の余地はなく、そこにある食べものらしきもの、一点二点を食うか、それともイヤなら空腹。遊びごと先輩に怒られ、気がねしながら教えてもらい、仲間に入れてもらった。イヤだったり、ハジかれたりしたら、一人で虫や小魚と戯れるか。



物が豊富になって、食料が自由になった頃、イメージが悪いから、芋類豆類は「いらぬい」なんて言うたこともあった。いざ出陣。事務局前の車中から、理事長の差し入れ。早速一盃ゴチになり、ボウリング場に到着しても、スタート前から、チビリ、グビリ。ナント、馬鹿力が授かって、まずは生涯ハイエストゲームの一八六ピン！これには自分も周りもビックリ仰天。続いて二〇〇一三〇。あわよくば一五〇くらい出れば、もしかして優勝かな、と思うあたり、不思議なものだ。結果はミジメ。またバカで今度は九九。低実力、過アルコールでオシマイ。

「さあ！次は焼肉だ。ウーンいい匂い。ウマイ！」次第に食から飲となつて、ついにはお隣りさんから、あれこれ皿に盛りつけてもらう始末で、なんとまだらしない。平素酔わないときでも、しまらない生き方をしてきたが、こういう恵みか、多勢のお力でここまでどうにかやって来られた。まだまだ不況も天罰も続きそう。このカラダとアタマが大狂いしないで、仕事会社もなんとかなるようならば、やりたいことがいっぱいあって有り難い。釣り、囲碁、将棋、麻雀、ゴルフ、山歩き、ドライブ、少し遠くへの旅等々、みんなヘタクソでみんないい。量は多くは要らないが、高価なものもいらぬいが、美味しいもの、珍しいものなど、飲める間は酒と共に求め、味わいたい。

ボウリングと焼肉、いい組み合わせだったなあ。幸せだなあ。思い出しては、ニンマリ…。感謝。また、そんな棚ボタみたいなことがあるといいなあ。楽しみといえば、数多い孫達の成長。結構早くて面白い。

肝腎の仕事は？老化のせいもあってだんだんやめれなくなって、やらなくなって、会社の皆がやってく

れるのか。お互い持ちつ持たれつか、でもなあ、持たれつ、持たれつ…？ま、いいや。明るく元気に、楽しくいこう。なんてつたつたって笑っていられりや幸せさ。どうぞよろしくお願いします。

## 只見線沿線元気会議設立によせて

入広瀬 三郎 浅井 重吉

只見線沿線元気会議の設立を、おめでとうございます。只見線沿線沿線の各駅地区でイベントを企画して只見線と共に地域が活性化され地域間交流の広がりを期待し行なう事です。

先日5月14日の新潟日報朝刊日抄の記事のなかで、「JR只見線の車窓から過ぎ去る田んぼを眺めていた。あぜ道に母親と立つ女の子が列車に向かって手を振っている。久しぶりの光景に思わず口元が緩んだ。」これこそ只見線元気会議の趣意であり、おもてなしの心だと思えます。只見線は絶景路線であり、車窓から眺める新緑や紅葉が美しいことで知られております。2008年10月日本経済新聞で紅葉の美しい鉄道ベスト1に選ばれました。このような只見線を地域で全国に広めることが大事だと思えます。そして今、魚沼から只見へと新緑が見ごろを迎えています。只見線に乗りして若葉の芽吹き力強さ、車窓から眺めて見ましよう。

最後に、入広瀬在住、大島寛氏作詞の【只見線】の詩を紹介したいと思います。

濃い朝霧 魚野川 雪の越後を 春へと誘う  
一映える 山岳に願いをかけた いった女 きつとまた来て きつとまた来て 只見線  
一、澄んだ流れの 只見川 思わず濡らした 両の手で 虚空地蔵様の神牛に お百度かけた といった女 きつと叶えて きつと叶えて  
只見線  
二、会津若松 刈穂の丘で お城の月に 夢のせて 知恵子の縁 いま一度愛をかけた といった女 きつと添わせて きつと添わせて  
只見線  
数々のドラマがある只見線。越後魚沼市から全国へ発信したいと思います。

春の宵 シャンソンコンサート  
〜故朝倉まみさんへ捧ぐ〜  
越後魚沼ロータリークラブ 三友 泰彦  
今年で3回目となる越後魚沼ロータリークラブの主催する春のシャンソンコンサートが5月15日に行われた。きっかけはなんとということ無い、メ

ンバー同士で飲んでいる席で、「小出でも長岡でもジャズはやるけどシャンソンは無いね。」という話から「たまにはおしゃべりにシャンソンもいいね。」という所に発展し、「それじゃあ、やってみますか？」というノリからだった。

## 文部科学大臣賞 第7回全日本マレットゴルフ選手権大会

イン魚沼市

第7回全日本マレットゴルフ選手権大会が岩手県田野畑村で行う予定でした。しかし、この度の東日本大震災によりこの地での開催ができなくなり、急ぎよ

去年は直前まで朝倉さんで進んでいたのだが体調を崩されて、古坂ルミ子さんから代わって出演していただいた。何れも好評のうちに幕を閉じた。そして、去年の秋が深まるころ朝倉まみさんの突然の訃報を聞くこととなったのです。朝倉さんのコンサートはついに叶わなかったのですが、今年も朝倉さんの人脈で「あみ」さんという素晴らしい歌手とピアノニストの今野勝晴さんから出演していただき、思い出に残るコンサートになりました。開演一曲目はピアノの独奏で「星に願いを」をイントロに使い、始まった曲がああエリック・サティの「ジユ・トゥ・ヴ」に詩をつけた何ともおしゃべりで小粋なもの、間奏には「いつか王子様が」を持ってくる演出で今野さんの編曲だそう。

この一曲を聴いただけで、今夜のコンサートへの期待はいやが上にも高まる。アマポーラ、パダンパダン、街、そしてさくらんぼの実る頃などのお馴染みの曲が続く。3月11日以来、重苦しい気持ちで過ごしてきた今年の春も、前後半全16曲のステージが閉じる頃には会場の雰囲気も軽やかに変わっていた。

雪国の一番良い時季「春の宵」に、シャンソンを聴ける喜びで会場を後にするお客様の背中に朝倉まみさんが天国から笑顔で語りかける。

「来年もまた逢いましょう」と。

新潟県マレットゴルフ協会では、さる2004年の中大震災の折に翌年開催されたマレットゴルフ全国大会で復興支援の募金活動など様々な面から応援を頂きました。今回は日本協会並びに新潟協会が中心となり、東日本大震災の災害に対し、マレットゴルフ愛好者から広く浄財を募り東日本の復興支援の一助を務めることも合わせて目的として開催することになったものです。

日時：平成二十三年七月九日（土）・十日（日）  
受付十時  
会場：新潟県魚沼市下折立  
「魚沼マレットゴルフ場」  
住所：新潟県魚沼市下折立四三〇  
電話：〇二五 七九五 二二六六（降りたて振興組合）  
主催：一般財団法人日本マレットゴルフ協会  
主管：文部科学大臣賞第七回日本マレットゴルフ選手権大会新潟県実行委員会  
協賛：地元企業・賛助会員 他  
参加資格：一般財団法人日本マレットゴルフ協会登録会員及び一般愛好者  
募集人員： 二一〇名

魚沼交流ネットワーク  
ブログサイトオープン 事務局

この度会員よりブログを開設してほしいという要望があり、魚沼交流ネットワークでブログを立ち上げました。多くの人に見てもらうことによって、魚沼交流ネットワークが色んな人に認知してもらえるかもしれません。

ブログの内容は様々です。事務局での出来事や、森の学校、交流事業部、総務部、他にも市内のイベントや情報をできるだけ沢山お伝えしたいと思っております。会員の皆様の中で「書きたい」「書いてみたい」という方がいらっしゃいましたら、是非事務局まで。また、「こんなイベントがあるみたい」とか「この情報を載せてほしい」などというリクエストも受け付けます。不定期に更新しますので、お時間があるときにチラリとチェックしてみてください。もしかしら何かあなたにとって良い情報が見つかるかもしれませんよ。携帯からでも見れます。見方・書き方が解らない方は事務局まで起一  
ブログサイトアドレス  
http://uonunakarai.blog.fc2.com

編集後記  
総会の日程が決まりました。去年私は都合により、参加出来なかったのが今年こそは参加します！毎年参加して下さる皆様はもちろんです、まだ参加した事のない皆様も是非御出席して頂ければ幸いです。

